



## 2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月4日

上場会社名 JUKI株式会社

上場取引所 東

コード番号 6440 URL <https://www.juki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清原 晃

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートオフィサー財務経理部長 (氏名) 南 大造

TEL 042-357-2211

四半期報告書提出予定日 2020年8月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	30,496	41.2	3,468		3,442		3,902	
2019年12月期第2四半期	51,885	2.5	2,595	28.9	2,107	33.7	1,436	26.0

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 4,625百万円 ( %) 2019年12月期第2四半期 686百万円 ( 30.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	133.21	
2019年12月期第2四半期	49.04	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	130,282	32,394	24.4
2019年12月期	114,715	37,752	32.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 31,728百万円 2019年12月期 37,037百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		25.00	25.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	29,874,179 株	2019年12月期	29,874,179 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	578,837 株	2019年12月期	578,789 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	29,295,356 株	2019年12月期2Q	29,295,696 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済環境、主要市場における政治情勢、為替相場の変動などが含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、新型コロナウイルスの感染拡大により世界的に移動が制限され、また一部の国・地域でロックダウンが拡大する中、多くの地域で企業の経済活動が停滞し、消費需要が冷え込む状況が続いており、世界経済は更に低迷の度合いを深めております。

当社を取り巻く環境も、特にお客様である各国各地域の縫製工場で事業を停止し、操業度が低い企業があるなど引き続き設備投資需要は低水準で推移しております。

当社は2020年から2022年の構造改革を軸とした中期計画フェーズⅡにおいて、そのビジョン「お客様とJUKI製品・サービスを通じて企業価値を向上できる“モノ-コト”づくり企業」の下、“5つの変革※”を軸とした構造改革、すなわち①管理間接業務のスリム化などによるコスト構造改革、②高収益分野の営業力強化などの事業領域拡大による付加価値の極大化、③ミドルマーケット開拓強化などのボーダレスによる顧客基盤強化に取り組んでまいりました。

※5つの変革＝①成長力のある市場・お客様の開拓、②収益力をアップする事業領域の拡大、③イノベティブな技術領域の拡大、④経営の5S（Simple, Slim, Speedy, Seamless, Smart）を軸とした生産体制及び管理（間接）業務体制の構築、⑤“持続可能な”経営の実践

同時に上記の事業環境に対応するため期初に掲げた構造改革を更に深掘りし、本社や国内外のグループ工場の一斉操業停止を含む大幅な生産調整、管理（間接）部門の一時帰休や新たな勤務フォーメーションの導入、処遇も含めた人事制度改革の推進、設備投資計画の見直し等により、上期に前年同期比約32億円の固定費削減を進め、収益改善を図ってまいりました。

その結果、売上高は304億9千6百万円（前年同期比41.2%減）、利益面につきましては、営業損益は34億6千8百万円の損失（前年同期は25億9千5百万円の利益）、経常損益は34億4千2百万円の損失（前年同期は21億7百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損益は39億2百万円の損失（前年同期は14億3千6百万円の利益）となりました。

下期も引き続き、Withコロナの現状を踏まえ、新たな勤務フォーメーションの制度化や更なる人事制度改革等により前年同期比約20億円の固定費削減を積み上げるとともに、Afterコロナを展望して専門部署の組織化による業務オペレーションの見直し、RPA導入などによる高効率の経営体制を構築してまいります。

また、役員月額報酬につきましては、更にカット率を拡大し7月より5～30%の減額を実施し、上期賞与につきましては自主返上をしております。

#### (主なセグメント別の概況)

##### ①縫製機器&システム事業

家庭用ミシンの売上は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う巣ごもり需要拡大に対応したことにより、日本、欧米の各市場で増加したものの、工業用ミシンの売上はアジアを中心に各市場で大幅に減少し、縫製機器&システム事業全体の売上高は184億4千2百万円（前年同期比45.9%減）となりました。利益面においては、上記構造改革によるコスト削減に努めましたが、売上減少や工場の稼働率低下の影響などにより、セグメント損益（経常損益）は18億1百万円の損失（前年同期は18億1千1百万円の利益）となりました。

##### ②産業機器&システム事業

産業装置では中国等を中心に5G関連等の設備投資需要の回復も見られ、第2四半期の売上は第1四半期比増加（10.7%増）しましたが、前年同期比では各市場で売上が減少し、また受託加工等のグループ事業でも車載関連を中心に売上が伸び悩み、産業機器&システム事業全体の売上高は119億4千万円（前年同期比32.4%減）となりました。利益面においては、上記構造改革によるコスト削減に努め、第2四半期には赤字幅を縮小しましたが、売上減少や工場の稼働率低下の影響などにより、セグメント損益（経常損益）は6億1千5百万円の損失（前年同期は11億7千7百万円の利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響に備え、財務基盤の安定性をより一層高めることを目的として、いち早くグループ会社を含む資金調達戦略を策定し手元資金の増強を図りました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金が減少する一方、現預金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ155億6千6百万円増加して1,302億8千2百万円となりました。負債は、買掛金が減少する一方、短期借入金及び長期借入金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ209億2千4百万円増加して978億8千8百万円となりました。純資産は、利益剰余金が減少したことに加え、為替換算調整勘定のマイナス額が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ53億5千7百万円減少して323億9千4百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大によって世界的に外出や移動が制限される中、企業の経済活動が停滞する状況が続いております。

現時点ではその収束時期の見通しが立っておらず、合理的な業績予想の算定が困難な状況にあるため、2020年12月期の通期連結業績予想は未定のままとさせて頂き、業績予想の公表が可能となった時点で改めて公表させて頂きます。

また、2020年12月期の期末配当予想につきましても未定のままとさせて頂き、2020年12月期通期連結業績予想の算定が出来次第、改めて公表させて頂きます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,987	31,203
受取手形及び売掛金	30,461	21,207
たな卸資産	41,461	41,127
その他	2,684	2,908
貸倒引当金	△383	△492
流動資産合計	80,210	95,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,514	11,580
土地	6,362	6,322
その他（純額）	6,278	6,275
有形固定資産合計	24,154	24,178
無形固定資産		
投資その他の資産	2,096	1,998
その他	9,611	9,502
貸倒引当金	△1,357	△1,352
投資その他の資産合計	8,254	8,150
固定資産合計	34,505	34,327
資産合計	114,715	130,282
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,120	4,735
電子記録債務	2,877	2,487
短期借入金	37,211	53,508
未払法人税等	452	298
賞与引当金	28	38
その他	7,078	5,051
流動負債合計	54,769	66,119
固定負債		
長期借入金	15,400	24,823
役員退職慰労引当金	61	65
退職給付に係る負債	5,251	5,277
その他	1,480	1,601
固定負債合計	22,194	31,768
負債合計	76,963	97,888

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,044	18,044
資本剰余金	2,035	2,035
利益剰余金	20,494	15,859
自己株式	△607	△607
株主資本合計	39,966	35,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	468	442
為替換算調整勘定	△3,437	△4,074
退職給付に係る調整累計額	40	28
その他の包括利益累計額合計	△2,929	△3,603
非支配株主持分	714	665
純資産合計	37,752	32,394
負債純資産合計	114,715	130,282

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	51,885	30,496
売上原価	36,463	23,750
売上総利益	15,421	6,745
販売費及び一般管理費	12,826	10,214
営業利益又は営業損失(△)	2,595	△3,468
営業外収益		
受取利息	18	28
受取配当金	113	89
貸倒引当金戻入益	66	21
助成金収入	5	544
その他	258	188
営業外収益合計	462	873
営業外費用		
支払利息	399	395
為替差損	502	383
その他	48	67
営業外費用合計	949	847
経常利益又は経常損失(△)	2,107	△3,442
特別利益		
固定資産売却益	6	30
特別利益合計	6	30
特別損失		
固定資産除売却損	6	26
投資有価証券評価損	—	112
特別退職金	—	83
特別損失合計	6	223
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	2,106	△3,635
法人税等	641	307
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,465	△3,942
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	29	△40
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,436	△3,902



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,465	△3,942
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50	△25
為替換算調整勘定	△716	△645
退職給付に係る調整額	△12	△11
その他の包括利益合計	△779	△682
四半期包括利益	686	△4,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	665	△4,576
非支配株主に係る四半期包括利益	20	△49

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,106	△3,635
減価償却費	1,404	1,579
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△53	114
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△111	45
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	82	△75
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	10
受取利息及び受取配当金	△131	△118
支払利息	399	395
為替差損益(△は益)	11	26
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	0	△3
売上債権の増減額(△は増加)	588	8,724
たな卸資産の増減額(△は増加)	128	△384
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,333	△2,686
割引手形の増減額(△は減少)	0	△12
その他	540	△1,241
小計	1,634	2,737
利息及び配当金の受取額	132	118
利息の支払額	△400	△379
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,222	△174
営業活動によるキャッシュ・フロー	144	2,301
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△913	△1,691
有形及び無形固定資産の売却による収入	25	173
その他	21	△245
投資活動によるキャッシュ・フロー	△866	△1,763
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,782	16,428
長期借入れによる収入	4,670	13,924
長期借入金の返済による支出	△4,512	△4,434
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△875	△729
セールアンド割賦バック債務返済による支出	△1	—
その他	△217	△357
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,846	24,831
現金及び現金同等物に係る換算差額	△191	△154
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	931	25,215
現金及び現金同等物の期首残高	7,301	5,976
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,233	31,192

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの感染拡大による影響に関して、現時点においてこれらの影響を合理的に見積ることは困難ですが、外部の情報等を踏まえ新型コロナウイルスの感染拡大による影響が2020年12月期の一定期間まで継続するものと仮定して、固定資産の減損判定及び繰延税金資産の回収可能性等に関する会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は不確実性が高く、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積り及び仮定と異なる可能性があります。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めて表示しておりました「助成金収入」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、独立掲記しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において「営業外収益」の「その他」に表示していた263百万円は、「助成金収入」5百万円、「その他」258百万円となっております。

## (セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報  
前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,109	17,654	51,764	121	51,885	—	51,885
セグメント間の内部 売上高又は振替高	606	83	689	237	926	△926	—
計	34,716	17,737	52,454	358	52,812	△926	51,885
セグメント利益	1,811	1,177	2,989	40	3,029	△922	2,107

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△922百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△925百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,442	11,940	30,383	113	30,496	—	30,496
セグメント間の内部 売上高又は振替高	409	31	440	199	640	△640	—
計	18,852	11,971	30,823	313	31,136	△640	30,496
セグメント利益 又は損失(△)	△1,801	△615	△2,417	41	△2,375	△1,066	△3,442

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,066百万円には、セグメント間取引消去58百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△1,125百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。